

YES・NOであなたにぴったりのメガネレンズがわかる！

メガネ診断チャート

～メガネレンズメーカーHOYA ホームページに診断チャートを設置～

HOYA 株式会社(本社:東京都新宿区、代表執行役 CEO: 池田英一郎)のメガネレンズ事業を担う HOYA ビジョンケアカンパニーは、自社ホームページにメガネ診断チャートを設置しました。



おすすめメガネ診断

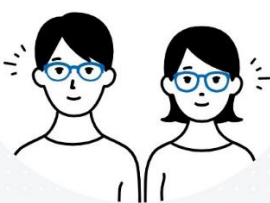
「メガネを選ぶ」、というとフレームの形や色など自分の顔に似合うファッション性を重視してしまいがちですが、本来メガネとは視力を矯正する医療機器です。まずは視力測定をし、自分の視力を矯正するメガネレンズを選びますが、その答え(メガネレンズ)は1つとは限りません。

【おすすめメガネ診断】は、どのメガネレンズを選ぶと自分にぴったりなのかを質問に YES・NO で答えていくだけでご提案してくれるコンテンツです。

▼おすすめメガネ診断

https://www.vc.hoya.co.jp/lens_search/diagnostics/

まずは「メガネをかけているかどうか」から始まり、3～4問の質問に YES・NO で答えます。

Q. メガネをかけている  はい → いいえ →	Q. 最近疲れ目を感じる  はい → いいえ →
---	--

最後はおすすめのレンズタイプをご案内します。

あなたは…

“ 近視初期老眼 タイプ ”

そんなあなたにおすすめのレンズは
近くを見る調節力をサポートする「アシストレンズ」

今までは遠くを見る時はメガネをかければしっかり見えていました。

しかし近くを見る時は調節機能（毛様体筋）を働かせて焦点を合わせています。そしてこの状態が長く続くと眼の疲れを感じるきっかけになります。

アシストレンズは調節機能をサポートしてくれる機能をもったメガネレンズです。
眼の負担を軽減し、その名の通り焦点をあわせるアシストをしてくれます。

実はメガネレンズは多種多様

とくに手元が見づらくなってくる老眼がはいってくると、選べるメガネレンズの種類は多岐にわたります。

例えば、近視の方が近くを見るために老眼鏡にかけかえると、老眼鏡では遠くがハッキリ見えない為、遠く用のメガネと老眼鏡をかけかえることになります。かけかえることなく1本ですませられるように遠くも近くも見える「遠近両用タイプ」のメガネレンズがありますが、それは1種類ではないのです。

「遠近両用タイプ」は、レンズの上部エリアに遠く用の度数、下部エリアに近く用の度数がそれぞれ入っていますが、下図のように、遠くと近くのバランスを変えることによって、得意とする見え方が違ってきます。遠くが得意な Field タイプと近くが得意な Room タイプを見比べてみると、Field タイプはRoomタイプより手元がハッキリ見える範囲(下図:赤枠内のメガネのピンクのエリア)が狭くなり、Room タイプだと遠く(水色のエリア)が狭くなります。

残念ながら、現在の技術ではメガネレンズは人間の目ほど万能ではないのです。

メガネレンズは、あなたの暮らしのパートナー

自分にぴったりのメガネレンズが見つかります！

タイプ	Field (遠近両用レンズ)	City (遠近両用レンズ(中近視用))	Room (室内用レンズ) MZ (旅行用重視タイプ) ミドルゾーン RZ (手元ワイドタイプ) ルームゾーン	Desk (デスクワーク用レンズ)	シングルビジョン (近用単焦点レンズ)	シングルビジョン (遠用単焦点レンズ)
遠く	◎	◎	◎	◎	×	◎
中	○	◎	◎	◎	×	○
近	○	◎	◎	◎	◎	×
見え方	遠くがはっきり見える範囲が狭い	遠くがはっきり見える範囲が広い	遠くがはっきり見える範囲が広い	遠くがはっきり見える範囲が広い	遠くがはっきり見える範囲が広い	遠くがはっきり見える範囲が広い
特徴	遠くがはっきり広く見渡せる！手元の文字もハッキリ見える。日常生活のすべてのシーンで快適に過ごせる遠近両用レンズです。	度数変化が緩やかなので、はじめて遠近両用を使用する方やコンタクトレンズ使用の方にオススメ！ユレが少ない設計で、外出やショッピングなどに心地よいレンズ。	室内でやや遠くまで見えるレンズ。趣味の観望などで手元の資料からスクリーンまでスッキリ見える！室内では「ルームMZ」、外出は「フィールド」または「シティ」の使い分けも快適です。	お料理やパソコン、会議や打ち合わせなど室内使用に最適なレンズ。室内では「ルームRZ」、外出は「フィールド」または「シティ」の使い分けも快適です。	一般的な老眼鏡です。手元はしっかりと見ることが出来ます。しかし中間から遠くは、ぼやけてしまうので、「フィールド」または「シティ」の併用がおすすめです。	遠くが快適に見えるタイプ。しかし、近くを見る度数に合わせられていないため、加齢とともに本などが見づらく感じてきますので「ルーム」または「デスク」の併用がおすすめです。

度数が進んだら、複数使用をおすすめします。メガネの数だけゆとりが広がります。

●写真内の色で示した範囲は見づらさを感じる部分です。 ●写真とイラストはメガネレンズの特長を理解していただくためのイメージです。 ●実際の見え方には個人差があります。

JIS S59119 0900 / 2021 11 / 92

どういう時にもっとクッキリ見たいのか、見たい対象や生活シーンはお一人おひとり異なります。日頃の生活で見づらさを感じている方や、ひょっとして老眼かな？と思っているかたは、ご自身にはどのタイプがぴったりか、まずはメガネ診断ツールでお試してください。

▼おすすめメガネ診断

https://www.vc.hoya.co.jp/lens_search/diagnostics/

※「おすすめメガネ診断」コンテンツは、両国眼科クリニック院長 岩崎美紀先生監修のもと制作しています。

▽岩崎先生プロフィール

両国眼科クリニック院長 **岩崎 美紀**先生

1990年、東京女子医科大学卒業後、同大学眼科学教室に入局。

済生会川口総合病院、朝霞台中央病院に勤務した後、

2000年に東京女子医科大学眼科教室助手となる。

六本木ヒルズクリニック創設時より眼科医長を務め、

2012年より両国眼科クリニック院長に就任。



▽HOYA ホームページ <https://www.vc.hoya.co.jp/products/kumori291/>

▽メガネレンズ各種：オープン価格(各眼鏡店にてご確認ください)

▽取扱：HOYA レンズ取扱店 https://www.vc.hoya.co.jp/store_search/

【HOYA ビジョンケアカンパニー】

HOYA は、1941 年東京・保谷(ほうや)町(現在:西東京市)にて「東洋光学硝子製造所」として創業、1962 年メガネレンズの製造を開始しました。1967 年日本で初めて※『境目のない遠近両用メガネレンズ』を発売、2003 年には両面複合累進設計メガネレンズ[BOOM]を開発するなど、より優れた製品の提供を追求してまいりました。※HOYA調べ

お一人おひとりに合ったメガネレンズをご提供するため、ひいては全てのお客様に最適なメガネを手にしていただくために、私たち HOYA はこれからも進化し続けてまいります。

「We care about your eyes.～いつもあなたの眼のために」

HOYA ビジョンケアカンパニーホームページ：<https://www.vc.hoya.co.jp/>

HOYA ビジョンケアカンパニーFacebook：<https://www.facebook.com/hoyavc>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

HOYA ビジョンケアグループお客様相談室

電話:0120-22-4080